

令和7年8月20日総合計画審議会専門部会A-4

参加者：佐藤委員 宿谷委員 丸委員 高橋委員 平岡委員

ファシリ：小寺さん 板書：天野

社会教育の推進

〈質問〉

委員

施策マネジメントシートの中で、「幅広い年代」という表現があったが、子供たちに限定ではなく、幅広い世代にということでもいいのか。

江崎生涯学習課長

生涯学習ということで、幅広い年代である。

委員

自発的な取組の支援について、子どもたち以外の支援はあるのか。

江崎生涯学習課長

やりたいことをなるべく叶えたいと考えており、どんどん相談してほしい。全体的には少ない。

委員

事前質問4・5の社会教育事業の参加者数の実績を確認したい。

藤村社会教育係長

目標立てたのがH29年度前期計画のものである。わんぱくキャンプ22人、西部十勝野外体験研修13人、少年少女国内研修14人、中学生国際交流9人、寺子屋めむろ28人、子ども学習塾は、89人、読書感想文コンクール290人である。寺子屋めむろは、教育推進課でもやっていて、そちらではドリルなどの勉強で、生涯学習課では体験がメインである。夏はドローン・ゲートボール、冬は大筆の書道をやっている。分かれていることにより、人数が大きく乖離している理由である。

江崎生涯学習課長

読書感想文を学校でやらなくなったところもあり、成果として人数が減っている。次回の成果指標設定のタイミングで目標の設定の仕方を変えていく。

委員

目標に対して、読書感想文コンクールで大きく差が広がっていて、R6からは、POP部門で大きく増えたという理解でいいか。

江崎生涯学習課長

そうである。

委員

計画目標値から乖離しているものがないと分かった。

図書館の機能の推進、電子図書の浸透拡大とあるが、それとどう絡めて考えるか。

江崎生涯学習課長

電子図書は、これからの時代に合わせて推進はしていくが、読書感想文については、電子でなく紙で読むということも大事にしていきたいと思う。ボランティアでも感想文の書き方を教えてくれる人もいて、そういうことも大事にしていきたい。

委員

電子図書と紙は、別で考えるのもいいかと思う。

《評価》

委員

妥当 C

委員

妥当 C

子どもが減っている中、読書感想文コンクールを増やせたのは、Bに近い妥当という評価。

委員

妥当 C

問題ないと思う。

委員

妥当 C

成果指標①は、昨年実績より数字が大幅に増加。②は、目標値を既に上回っているため。最近

の学生は、読書感想文や宿題も生成 AI でやっているのを見るが、どうなんだろうとは思う。

委員

妥当 C

幅広い世代とある中で、成果指標は子供向けなのが気になるが、成果指標②が目標値に達していることから。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

社会教育の推進について。参加人数が大いに越したことはないが、イベントは前後がインパクトある。人と出会うことで、何かをしたくなるとか、何かを継続したくなると思う。そのため、子どもだけでなく、大人向けにも取組んでほしい。子どもと大人が一緒なのは、ジモト大学がかと思う。どちらも学べる形ができていけるといいと思う。

委員

山村留学の運営をしており、芽室町は文化交流などが充実しているため、山村留学生に郷土愛の醸成も含めて、そういうことにも参加させていただけたらと思う。

また、1人ずつタブレットを持っているが、ルールは自治体ごとに違い、芽室町はルールが緩いと思う。正解はわからないが、山村留学はデジタルデトックスの意味合いで来ている子どももいると思うので、考えさせられる。

委員

社会教育委員の会議に出ているが、コミュニティスクール・ジモト大学・部活動の地域移行に偏っていると思う。それ以外のことをどうしていくのか議論がなされていないと思う。例えば、柏樹学園の活性化についても、社会教育委員として、どう提案をすればいいかわからない人もいると思う。突っ込んだ部分の話が合ってもいいと思う。

委員

部活動の地域移行について、社会教育委員・スポーツ推進委員で、同じテーマで話していても話し合う内容が違う。そのため、皆で話す機会を作ってもらえたらと思う。

また、ドローンの体験を大人もできる機会があれば、参加者が増えるのではないかな。

委員

生成 AI の話について、詰込み教育型でなく、モチベーターのような人が大事になってくると思

う。それを使ってどうしたいのか、自発的な取組の支援と考えると、何をすべきかイメージが湧いてくると思う。自発的な取組をどうしてあげるのか、モチベーションを上げてあげられるか。

委員

部活動の地域移行について、会議に出ている。率直に話ができるため、会議の進め方を提案した際、取り入れてもらった。そこで、事務局がどう動くかで雰囲気が変わると感じた。生涯学習課には、住民が動きたくなるような雰囲気づくり・立ち位置を今後も続けてほしい。

江崎生涯学習課長

コミュニティスクールなど色々やっていて、それをよく知ってもらうことが大事なため、知ってもらえる取組をしていきたい。コーディネーター役を持ち、社会教育士等が考えながら町民がやっていく。そういう人を増やして、教育委員会だけでなく、町側の施策にもそういう考え方を推進していくという考えもある。子どもたち中心が多いが、大人にも幅広くやっていきたい。どこに力を入れるかも、皆の意見をいただきながらやっていきたい。

地域文化の振興

《質問》

委員

事前質問1について、文化財は芽室公園の「かしわ」ということでいいのか。

大橋社会教育主査

町としてはその1件である。

藤村社会教育係長

文化財の収集活用は、ふるさと歴史館を活用。絵画の寄贈の相談もあるが、全部を受け入れているわけではない。

委員

文化財の活用について、町の中やねんりに展示されているものは、定期的に入れ替えを行っているのか。

藤村社会教育係長

基本的なものは変わっていない。

大橋社会教育係主査

歴史館についても、模様替えは大きくしていない。町民から寄贈の依頼があれば、資料の重複がなければ受け入れている。今後、展示の入れ替え、目に見える普及活動に結び付ける

委員

絵画もか。

大橋社会教育係主査。

そうである。入れ替えていない。

江崎生涯学習課長

申し入れは結構あり、所有されている方も困っているとのこと。申し出はありがたいが、沢山あっても管理も困るため、最近では断らせていただいているのが実情である。寄贈の話は年に何回かある。

委員

ふるさと歴史館の保管スペースは足りているのか。

江崎生涯学習課長

外の収蔵庫がある。残したいという気持ちには応えたいが、全てを展示できているわけではない。

委員

地域文化の振興の施策でいうと、町民と普段からやり取りをするのは、芸術鑑賞会、文化協会の2つになるのか。

江崎生涯学習課長

その2つ。そのほか、申し出があれば機会を設ける。

委員

文化財保護委員はあるのか。

江崎生涯学習課長

ある。

《評価》

委員

妥当 C

指標の数字から。

委員

妥当 C

指標が伸びているから。

委員

妥当 C

書かれていることがすべてだと思い問題ないと思った。

委員

妥当でない B

指標が向上。2.施策の事業費が減っている。費用対効果が高いと考えた。

委員

妥当 C

成果指標が増えているから。

1つ質問が生まれたのだが、事業費はどうして下がったのか。

江崎生涯学習課長

予算の中の許容範囲の中の増減であり、1つ1つの積み重ねの費用のため、これといった理由は今のところは不明。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

文化・スポーツ・芸術など色々やるひと、又は、やった結果上を目指したい人、その人たちへの推進や場の提供、他自治体と連携することを考えてもいいと思う。

委員

先日、アバターのライブに行った。公民館と似たような伊達の歴史館である。公民館を活用すれば、幅広く、芸術を見せることができるのでは。そういうことができればと思う。検討いただきたい。

委員

文化協会への25万円の補助について、25万円出している現状がこれでいいのかなと思う。費用対効果の話じゃないが、惰性できているのかなと思う。現状の活動が難しいのであれば、解散などして、公民館の利用団体で、そういう団体へ移行したほうがいいのではないか。文化協会がなかったら、法律にひっかかるわけではない。

江崎生涯学習課長

文化協会は、50周年に向かっているところだが、会員数が減ってきている。また、個人的にやる楽しみ方をする人が増えてきており、団体でやることはどんどん減っている。文化の中心の役割が弱まっているということで、どう支援していけたらいいか。既存の団体の相談に乗りながら、進めていく。今後どうしていくかが課題である。

委員

ふるさと歴史館で行事があるときは、参加者の送迎はされているのか。

江崎生涯学習課長

ねんりんフェスティバル、年に1回開催で、バスが出ている。今年度は、3月開催予定である。

委員

文化展について、仕事上の関係で、マンネリ化されているのではと話があった。公民館は、作品展示に使いがづらい。出展数を絞ることや、めむろ一どで開催するという事も考えたらどうか。

委員

美蔓や北明で、石器や縄文土器が出る。畑の作業中に農家が見つけている。そういうのは文化財的に価値はあるのか。また、それを役場に申告することで農作業ができなくなるとい、役場に伝えていない人もいると思う。

大橋社会教育係主査

遺跡など畑から出てきて農作業ができなくなることはない。そういったものが出てくる場所は、芽室町で把握できる分で65か所ある。他にも、農家の方が知っているというところもあると思う。そういう場所をおさえておき、工事が行われる場合は、開発業者にアドバイスする位置づけなのが町である。

委員

2点。1点目に、文化というほんわりしたものは、多様化している。行政でできることは、地域の潜在的な力を引き出すことではないか。どうすれば町民で楽しめるかなどにシフトすると、わかりやすい事業になるのではないか。何をやるかはメンバーや予算などで工夫が必要だと思うが、環境・メリットが見えると予算のつけ方もわかりやすいのではないか。

2点目、郷土史の保全について。公共的な補償が欲しいものである。例えば、裸神輿が行われていたが、それを振り返る機会がない。芽室町で大切にしてきた文化を保証する。記録を残すことができるのは行政だと思う。

江崎生涯学習課長

ご意見として承る。

委員

図書館に古い広報誌がとってある。よそにはなかなかないため、利用させてもらっている。

丸委員

サッカー少年団、30周年を迎えるにあたり、文化活動として、記念誌を作りたいが、手が足りない。

委員

20周年のとき、式典を行った。

江崎生涯学習課長

地区の周年の記念誌等、図書館に寄贈していただいたりして、電子図書にしていけたら。

スポーツしやすい環境づくり

《質問》

委員

成果指標にある、体育施設利用者数はすべて町民であるか。

梅森スポーツ振興係長

町内外問わず、利用者皆の人数である。

委員

町内外の割合はわかるか。

梅森スポーツ振興係長

施設によるが、町民のほうが多いと思う。

委員

体育施設の野外の照明がないのは、芽室だけか。その点を、充実させていけたら、合宿などの受け入れもできるのではないか。

江崎生涯学習課長

体育施設は、ある程度町内で大きくやるとなると、郊外でやることを望みたい。踏み切れないのは、費用の関係が一番大きい。

委員

町営リンクをうまく活かしてして、真ん中を芝生にして、そこでサッカーをできるようにしたらどうか。

《評価》

委員

妥当 C

うごトレのメニューが増えている。チャレンジデーが廃止された後も、新しくスポーツを始めるときっかけに繋がる取組をされている。

委員

妥当でない B

トレーニングセンターに行っている人が増えた。評判もいい。また、ボディメイク術に行ったことがあるが、とても親身になってくれて、そんな環境でスポーツができるのはありがたいことである。最後に、上美生は、体育館に冷房が付いていなため、夏が厳しい。ご一考いただき

たい。

委員

妥当 C

宣伝が上手。勝毎・道新でもみる。

委員

妥当 C

成果指標、マイナスもあるが、環境としてはいい。管内にスキー場が復活したことでの評価は高い。

委員

妥当 C

各指標が伸びている。GB は、歴史のあるスポーツであるため、必ずしも伸びなくてもいいとは思ふ。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

サッカーについて、地域移行をして、誰がやるのかによって、活動の時間が変わる。室内は照明が付くが、外は、照明がなく安心してできない。そのため、屋外施設の照明は論理的に必要である。ぜひ予算をつけていただきたい。

委員

GB の人口が増えない。ほかのスポーツのように、人が集まりやすいよう、ルール改正をしたらどうか。発祥の地だからこそできると思う。もっとカジュアルにできるアイデアがあれば、人口が増えるのではないか。文化的なスポーツであり、芽室町がもっと発信して人口を増やしていけたらと思う。

また、スポーツの習慣づけ。やりたい人もっといると思う。ラジオ体操など細目に LINE 等で情報発信をできたらいい。検討してください。

委員

芽中の近くに家がある。朝の 5 時ごろ起きたら、中学生が学校に向かっているのを見る。一体何時に起きているのか。日中が暑いので、早い時間から活動して早めに終わらせるということもあると思うが、大丈夫なのか。夜も 20 時くらいまで、サッカーをしている。楽しくてやって

いるならいいと思うが、心配である。

また、新しくできた温水プールについて、介護予防の取組が有用になる。検討いただきたい。

江崎生涯学習課長

部活動の時間は平日2時間、土日3時間と縛りは厳しくなっている。そういう状況であるという事は承知した。

梅森スポーツ振興係長

私の家庭にもサッカーをしている息子がいるが、暑さのため、8時30分にキックオフをする関係で、6時前に学校集合している。どうしても早い時間に行くということが起きている。夜遅くまでサッカーをしているということは、こちらでは把握できていなかった。夜は19時までとしている。

委員

上美生では、スポーツの部活動は、テニスかバドミントンの2択である。バドミントンの部費は、年間3万4千円であり、他にもラケットを購入等となると、始めるのに10万円弱かかる。町から部活に対する助成金は、もらっているが、個人的には部費が高いと思っている。また、ここ1年で部費が1万円上がっている。バドミントンは芽室で人気なため、もう少し何とかならないものか。ちなみに、テニス部の部費は、1万円である。

委員

ソフト面での再びスポーツを始めるきっかけについて。健康福祉に関わることもかもしれないが、1日体験などハードルを低くして、広報をしてもらえたらと思う。GBについては、慣れるまでに半年かかった。野球も5人制に簡略化されていることもあるため、GBも簡略化されたルールを導入できればと思う。

委員

GBについて、ブラジルとの交流があることを今回初めて知ったが、とてもいいと思う。発祥の地だからこそ、世界から人を呼び込める。これを広報することで、ほかの施策にも繋がってくるのではないかと。また、ルールの簡略化をして、ライト層も取り込めたらいい。

江崎生涯学習課長

GBについては、中国・香港などにも来てもらうこともあった。世界的に広がっている。発祥の地ということで、興味を持ってきてもらえる。現在も、町長がGBの関係でブラジルまで出

張中である。そういう繋がりは大事にしていきたい。ほかの事業も含めて、広報をしていくのは大事である。